

総合工学委員会原子力安全に関する分科会
社会のための継続的イノベーション検討小委員会
第25期・第5回議事録

令和4年2月21日

作成 澤田 隆

1. 日時 令和4年2月7日（金）10:00～12:00
2. 会場 遠隔会議 オンライン開催
3. 出席者 松岡委員長、越塚副委員長、小野、関村、矢川、佐倉、澤田、白鳥、宮野、山本、（吉村、中村欠席）

4. 配付資料

資料1 社会のための継続的イノベーション検討小委員会第4回議事録（案）

資料2 社会のための継続的イノベーション報告（案）

資料3 社会のための継続的イノベーション報告書のための議論用メモ

5. 議事

1) 議事録案確認（資料1）

◎議事録案について、コメントなしで確認された。

2) 社会のための継続的イノベーション報告書のための議論用メモ（資料3）についての議論

◎議論用メモについて、山本委員から前回議論を反映して内容を取捨選択して改訂した旨説明があり、資料について意見交換を行った。以下に内容を示す。

- ・イノベーションは社会の価値の変革であり、技術なしでも出来るものではないか。
- ・変革を継続的に行うのは難しいのではないか。イノベーションは不連続を生じるのではないか。
- ・価値観が多様になっているので、多様性に配慮するべきである。
- ・SMRや再エネといった技術から入るのではなく、社会としてどう取り組むか議論すべき。
- ・日本の課題とグローバルな社会での課題をどう議論するのか。
- ・国の規制の考え方、研究開発とインフラ、技術開発のファンデーション等、イノベーションを推進するドライビングフォース、知識基盤を作っていくという話についても議論すべきである。
- ・人間の寿命が長くなると、その間に社会がどう変わるかが問題。
- ・意思決定プロセスを社会に組み込むべき。

◎引き続き、議論の方向性について検討を続ける。本日の意見交換を踏まえて、内容の整理と更新を行う。

3) 社会のための継続的イノベーション報告（案）（資料2）についての議論

◎報告案についてについて意見交換を行った。以下に内容を示す。

- ・何を報告するか、何を提言するかが重要。事例は参考資料に入れるべき。
- ・再生可能エネルギーをどう位置付けて議論するか？
- ・社会のコンセンサスが必要だが、コンセンサスの方法・内容の議論が無いので加える必要がある。
- ・DXは継続的イノベーションが行われている分野。そこではオープン（情報公開、競争参加）が重要とされている。多様なステークホルダーと市場の選択で良いものが残されるという環境。一方、個人情報のセキュリティとのバランスが問題。

◎引き続き、議論の方向性について検討を続ける。本日の意見交換を踏まえて、内容の整理と更新を行う。

4) 今後の進め方について

- ◎ 意見交換の内容に基づき、内容の整理と検討を進める。
- ◎ 次回は委員長が別途メールで日程を調整する。

以上